

北九州ロボットフォーラム News Letter

第6号

発行日 2009年3月1日



目次

- 福祉用ロボットスーツ「HAL」見学・・・1
- 響灘菜園 見学とヒアリング・・・2
- ロボット産業振興会議 セミナー報告・・・2
- 松本清張記念館におけるロボット・・・3
- (株)東芝製SSD及びSSD搭載ノートPC 受託式・・・3
- ロボット産業マッチングフェア・・・4
- 北九州ロボットフォーラムホームページ リニューアル・・・4
- 活躍するロボットたち on TV part2・・・4

日頃から北九州ロボットフォーラムへのご協力とご理解ありがとうございます。今回のニュースレターではこれまでの活動の中から、新たな用途に向けた次世代ロボットへの取組をご紹介します。北九州ロボットフォーラムではこれまでに取り組んできた検査ロボットや移動ロボットだけでなく、新しいニーズを開拓していきたいと思っています。

福祉用ロボットスーツ「HAL」見学

福祉用ロボットスーツ「HAL」を全国ではじめて導入された下関市の医療法人茜会 昭和病院を訪問し利用状況などについてお伺いしました。この「HAL」は両脚モデルで、専用の靴から腰までの構造となっており、装着して歩行や階段昇降をアシストしてくれるものです。病院内でのリハビリ状況を見学させていただきました。利用者の方は「これまで、自分では階段の昇降ができなかったのにHALをつけて自分で昇降ができるようになってうれしい」とおっしゃっていました。昭和病院では、これからもHAL製造元のサイバーダイン社と協業しながら検証を重ねていくとのことでした。





響灘菜園 見学とヒアリング

2月初旬にロボット開発支援室のメンバーが、若松区にある響灘菜園を見学してきました。こちらの大規模ハイテク温室ではカゴメブランドの生鮮トマトを生産しています。トマトを生育している8.5haの温室内の環境や栽培状況を見学し、ご担当者とはロボット技術を活用できる事がないかなど多くの意見交換ができました。

こうした事業化されている施設からのご意見、ご要望を伺いながら、例えば移動ロボットやビジョンシステムといった新たなロボット技術の研究会や試作品づくりをすすめたいと考えています。

今回は農業、生鮮品というこれまでとは違うフィールドを見学させていただくことができました。ロボットフォーラムの会員で、こうした分野へのロボット研究開発にご興味のある方がいらっしゃいましたら事務局までお気軽にお問い合わせください。

みなさまからのコンタクトをお待ちしています。



ロボット産業振興会議

1月14日(水)に福岡 天神のソラリア西鉄ホテルでロボット産業振興会議 主催の「次世代ロボット安全評価・対策技術セミナー」が開催されました。ロボットビジネス推進協議会 安全対策検討部会 池田部会長の講演に続いてALSOKの警備案内ロボット「ガードロボ」とパナソニック電工の自律搬送ロボット「HOSP I」の事例紹介がありました。約100名の方が参加されていました。

また、来る3月19日(水)には吉塚駅前の博多サンヒルズホテルで平成20年度の研究成果発表会が開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。 詳細は、<http://www.f-robot.com/topix/topix.html>をご参照下さい



松本清張記念館におけるロボット
技術活用プロジェクト

北九州市出身の作家・松本清張の生誕100年を記念した事業のオープニング式典が1月10日に松本清張記念館で開かれ、九州工業大学ヒューマンライフIT開発センターが製作した、専用の受話器で話しかけると画面に清張が出てきて対話ができたり、自分の顔に清張のメガネ、唇などが合成できる映像システムや書庫ウォークスルー、書斎カメラのお披露目がされました。

これは昨年度の北九州ロボットフォーラムにおける「松本清張記念館におけるロボット技術活用プロジェクト」の流れをくむものであり、式典当日は九州工業大学の中村先生からシステムについて説明がありました。本システムは生誕100年記念事業の1年間展示される予定です。小倉へお出かけの際は、ぜひ一度ご覧ください。



(株)東芝製SSD及び
SSD搭載ノートPC受託式

2月2日、(財)北九州産業学術推進機構(FAIS) 産学連携センター特別会議室において(株)東芝製SSD(ソリッドステートドライブ)及びSSD搭載ノートPCの受託式が行われ、ロボカップチームHibikino-MusashiにはSSD搭載ノートPC、極限環境ロボットの研究応用として北九州市立大学山本郁夫研究室およびFAIS半導体技術センターにSSDが受託されました。Hibikino-Musashiでは、ロボカップサッカーの練習や試合中にロボット同士の激しい接触などによりHDD(ハードディスクドライブ)がクラッシュすることによる不具合がありました。SSDはこの対策になるものと期待されています。Hibikino-Musashiでは早速、5月に大阪で行われるジャパンオープンでの優勝を目指した取組が開始されています。



開催 ロボット産業マッチングフェア北九州

北九州ロボットフォーラムでは、今年も「ロボット産業マッチングフェア北九州」を開催します

平成21年6月11日（木）～13日（土） 10時～17時（最終日は16時）

西日本総合展示場 新館[JR小倉駅北口より徒歩5分]

- ・過去48回の実績をもつ「西日本総合機械展」の一環として実施します。
（参考：来場者約2万5千人（前年度実績））
- ・詳細はHPにて <http://robotics.ksrp.or.jp/robotforum/index.html>

同時にセミナー・報告会を開催します

セミナー（予定）



- ・平成21年6月11日（木） ・場所 AIM 3F 会議室
- ・タイトル 「東大IRT研究機構の成果 ～生活支援ロボットの研究開発最前線～」
- ・講師 東京大学 大学院情報理工学系研究科 研究科長
IRT研究機構 機構長 下山勲
- ・概要 日本は世界のトップで少子高齢社会に入り、50年後には人口が4分の3、65歳以上の高齢者の割合が現在の20%から40%へ、また、一人世帯の増加などが予測されている。これに対して、国民の所得やQOLを維持するためには、社会制度面の支援、家族の理解、移民などが考えられているが、それとともに、IRT（ITとRTの融合）による、ホーム・プロダクションの効率化や高齢者の活動幅の拡大支援も有効であると考えられる。IRT研究機構では、企業と東京大学との協働により、IRTの研究開発を行ってきた。ここでは、家事支援ロボット、移動支援ロボット、キッチンロボットなどのIRTアプリケーションと、その要素技術について紹介する。

平成20年度市内発ロボット創生事業 事業成果報告会（予定）

- ・平成21年6月11日（木） ・場所 AIM 3F 会議室
- ・テーマパーク向け移動ロボット開発プロジェクト
- ・医療用ロボットハンド開発プロジェクト

北九州ロボットフォーラム HPリニューアルオープン

北九州ロボットフォーラムとロボット開発支援室のHPをリニューアルしました。
より見やすく、使いやすく改良されました。今後とも宜しくお願い致します。



ホームページもぜひご覧ください

活躍するロボットたち on TV part2

北九州ロボットフォーラムの活動や、研究室の活動成果がテレビに取り上げられることが増えてきました。いくつかをご紹介します。

- 12月13日 RKB だいすき北九州
- 1月31日 TVQ 九州けいざいNOW
- ・石川鉄工所の「もぐりんこ」が紹介されました。

- 2月6日 TVQ ロボつく
- 2月9日 TVQ カンプリア宮殿
- ・安川電機が紹介されました。

編集・発行：北九州ロボットフォーラム事務局
北九州市産業経済局新産業振興課 /
(財)北九州産業学術推進機構ロボット開発支援室
連絡先：〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1
電話：093-695-3085 FAX：093-695-3525

E-mail: robotics@ksrp.or.jp

URL <http://robotics.ksrp.or.jp/robotforum/>